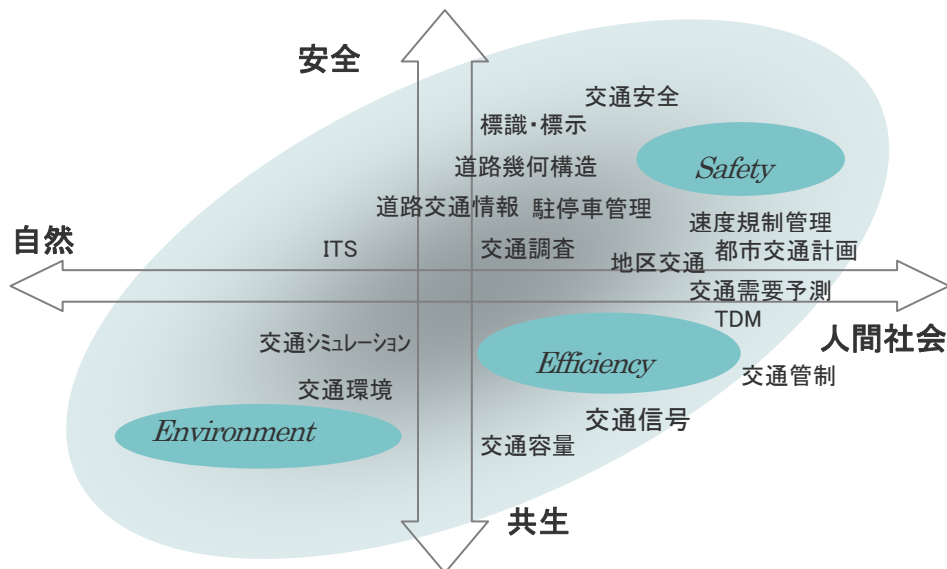


# Japan Society of Traffic Engineers 一般社団法人 交通工学研究会



交通工学研究会は、道路交通に関する社会の要請に応じて交通工学に関する研究を行い、道路交通の安全と円滑化を通して社会の健全な発展に寄与するとともに、交通工学に携わる技術者を育成することを目的として 1966 年(昭和 41 年)に設立されました。以来、交通工学に関し主導的な役割を果たしてきましたが、道路交通に関する研究をいっそう促進させることを目的として、1979 年(昭和 54 年)に社団法人化され、交通工学を専門に研究するわが国唯一の研究機関として安心・安全な交通社会の実現を目指して、活動しております。また、2011 年 4 月 1 日より「一般社団法人 交通工学研究会」として、新たに出発することになりました。

当会は、日本学術会議の協力学術研究団体であり、特許法第 30 条第 1 項(実用新案法第 11 条第 1 項において準用する場合を含む。)の規定に基づく学術団体です。

## 研究 *Research*

「交通」に関する幅広い分野を対象に、社会のニーズを先取りした研究活動を行っています

### § 自主研究 §

自主研究とは、JSTE が会員の協力のもとで独自に自主的に取り組む研究です。自主研究テーマは公募制で、自主研究に広く会員の参画を募ることで、JSTE における研究活動のさらなる活性化を図るものです。

研究に当たっては、採用されたテーマごとに研究グループを設け、その成果は、出版物の発行やセミナーの開催等、多方面で社会に還元しています。

### § 助成研究 §

他団体より助成を受け、学・官・民の研究者、実務者を集めて委員会を設置し、当会の各種調査研究で得られた研究成果を活かしつつ、有用な研究結果を収めています。

## TOP・TOE 資格制度

道路交通技術を駆使して専門業務に従事できる人材の育成を目指した資格制度です

### § 資格制度創設について §

我国において道路交通分野に投入される技術の総量は、関係の方々理解と努力のおかげで着実に増加し続けております。しかし、より安全で円滑な道路交通の実現に向けた国民の期待は、益々高まりつつあります。さらに、大規模集客施設の立地に関わる交通アクセスなど、実務においても道路交通技術の適用範囲はますます拡大する情勢です。このような道路交通技術に対する需要の急増に応えるためには、とりわけ道路交通技術者の質的及び量的な拡充が肝要です。

道路交通技術に関連する我国の資格には国家資格である「技術士」の他、「RCCM」(建設コンサルタンツ協会)、「土木学会認定技術者資格」(土木学会)などがあります。しかし、これらの資格制度は、必ずしも道路交通に対象技術分野を絞ってはいないため、道路交通技術者の養成には直結しません。道路交通技術は多岐にわたる技術分野の総合としての応用技術です。また、制度的にも交通管理者である警察庁、道路管理者である国土交通省や総務省、経済産業省など多くの省庁が関係しています。

以上の状況を踏まえ、交通工学研究会においては、道路交通技術を駆使して専門業務に従事できる人材の育成を目指し、道路交通技術に関わる資格制度を平成 16 年度から発足させました。

### § 資格の位置づけ §

- 1 交通工学研究会認定 TOP (トラフィックオペレーションズプラクティショナ:交通技術資格者)



道路交通技術に関わる基礎的専門知識を有し、道路交通運用に関わる専門業務に従事できる者を認定します。

- 2 交通工学研究会認定 TOE (トラフィックオペレーションズエンジニア:交通技術上級資格者)



道路交通運用に関わる専門業務経験を豊富に持ち、道路交通技術に関わる高度な専門知識を広く体系的に有し、実務に指導的に取り組む能力を有する者を認定します。

## 入会のご案内

### § 特典 §

- 1.機関誌無料購読(年 4 冊)
  - 2.講習会参加費割引
  - 3.研究発表会参加資格
  - 4.出版物購入割引(会員価格)
  - 5.報告書等閲覧貸出(条件付)
  - 6.機関誌への投稿
  - 7.年 1 回機関誌「交通工学」1 月号に会員名簿掲載
  - 8.自主研究プロジェクトへの参加応募資格及び、研究助成の応募資格
  - 9.メールマガジン登録
  - 10.特級会員については、講習会(東京・大阪)各社 1 名招待
  - 11.当会主催の講習会場におけるパンフレット・資料・パネルなどの展示スペースの提供
  - 12.事例研究報告会への参加資格(特別会員コンサルタント会社のみ)
  - 13.当会ホームページへ特別会員名簿の掲載いたします。
  - 14.出版物の編集作業(改訂作業)への参画
- ※10~14 については特別会員限定特典

### § 会費・機関誌送付部数 §

個人会員	本会の目的に賛同し、交通工学に関心を持つ個人・学生
正会員	年額 10,000 円 (1 部)
学生会員	年額 5,000 円 (1 部)
特別会員	本会の目的に賛同し、協力を希望する団体(法人格を有しない場合は、その代表者)
特級	年額 300,000 円 (8 部)
1 級	年額 180,000 円 (6 部)
2 級	年額 120,000 円 (4 部)
3 級	年額 60,000 円 (3 部)

## 機関誌「交通工学」 Traffic Engineering



本誌は、交通工学を専門に研究するわが国唯一の研究機関の機関誌として、昭和 41 年より発行しております。

内容は論文、報告、紹介、講座、技術資料、研究関係記事、海外情報、研究室紹介、オフィス紹介等から構成され、また当会の行事、出版物等もご案内しており、奇数月に発行しております。

会員を始め全国の関係行政・研究機関、民間会社、団体等に広くご購入いただいております。

### § 雑誌概要 ・ これまでのテーマ一覧

刊行	昭和 41 年	本体価格	2,500 円+税/1 冊	
発行日	1 日	発行部数	5,000 部/月	
発行サイクル	年 4 回	版型	B5 版	
業 種 構 成	国土交通省・警察庁など官公庁	13%	自治体	5%
	団体など	15%	建設コンサルタンツ	29%
	設計・測量・通信会社 など	8%	学校関係	21%
	その他	9%		

#### ◇特集テーマ一覧

掲載号	特集テーマ
平成 26 年 1 月号	子どもを育む交通
平成 25 年 10 月号	地方部の人口減少と交通
平成 25 年 7 月号	近畿地方における道路交通の取り組みと展望
平成 25 年 4 月号	休憩施設・道の駅・オープンスペース
平成 25 年 1 月号	防災、まちづくり、医療福祉に資する ITS
平成 24 年 10 月号	新しい自転車環境の創出に向けて
平成 24 年 7 月号	首都圏における道路交通の取り組みと展望
平成 24 年 4 月号	交通モデリングの今
平成 24 年 1 月号	医療と交通

### § 広告掲載 §

「交通工学」に広告を載せてみませんか?!

「交通工学」は人・モノ・技術・情報の交差点です。

より効果的なメディアとしてご活用を…

#### ◇公告掲載料金

(税別)

		年間契約	1 回掲載
表紙 2	1 頁 1 色	¥45,000	¥55,000
後付	1 頁 1 色	¥26,000	¥30,000
表紙 3	1 頁 1 色	¥40,000	¥47,000

#### ◇お問合せ・お申込先

\* 広告掲載について…丸善プラネット(株) TEL 03-3512-8516

広告掲載箇所は表 2、表 3、後付けとあり、1 頁又は見開き掲載も可能ですので是非お申し込み願います。

\* 定期購読について…丸善出版(株) TEL 03-3512-3256

最寄りの書店でお申込の場合“発売所は丸善出版(株)”と申し添え頂きご注文下さい。

## 行事 *Event*

「交通」関係の技術者の育成や、情報交流の場・発表の場の提供により、実務者、研究者の積極的な活動をサポートしています

### § 交通工学研究発表会 §

会員の研究発表と討論の場として、昭和 47 年より隔年で行ってまいりましたが、年々発表件数も増加し、平成3年からは毎年開催しております。発表分野も交通流、交通計画、交通制御、交通安全、交通情報、都市工学、景観等と幅広く、学術的報告のみならず、調査・計画・政策など実務や現場に直結した報告も数多くなされ、活発な討論が繰り広げられております。平成 20 年からは研究発表を、学術研究や学術調査などの「研究論文」と、実務調査や施策等の実施あるいは実施結果に重点を置いた「実務論文」の二つの部門にわけ、各々異なる基準で審査しています。また、デモンストレーション会場では、パネルの展示やパソコンによるシミュレーション等も行ってまいります。

### § 交通工学講習会 §

昭和 41 年に第 1 回を開催して以来、東京、大阪において開催しており、主なテーマは、交通工学の動向を踏まえたもの、流動しつつある諸問題の解説、新技術や対応策などの紹介・指導に重点が置かれています。

### § 交通工学実技講習会 §

「平面交差の計画と設計」をテーマに、多少経験のある方を対象として 3 日間にわたり、少人数制で講義および演習を行い、演習ではきめ細かな個人指導を行っています。

1 日目 講義による基本的事項の理解

必修の項目である幾何構造、交通制御、交通容量の基本事項について講義形式で分かりやすく解説します。

2・3 日目 演習、製図による基本技術の習得

具体的な課題にもとづいて交通容量計算、交通制御方法の検討、幾何構造の設計を実際に行います。

演習及び設計製図を行う際には、経験豊富な技術者が個別に指導します。最後に、各課題に対して好評を行い、質疑応答を通して総まとめを行います。

### § 平面交差の計画と設計セミナー §

「平面交差の計画と設計セミナー」は、全くの初心者、あるいはほとんど経験のない方を対象に、1 日半にわたり、平面交差の計画と設計の基本事項を分かりやすく解説し、簡単な演習を行うことによって参加者の皆様に平面交差の計画と設計の基礎技術を習得していただくことを目標に実施しております。

### § その他セミナー・シンポジウム §

当会の新規出版物発行に伴う解説や、その時々で社会的ニーズの高いテーマを取り上げた「交通技術セミナー」をはじめとする各種セミナー、シンポジウム等を開催しています。また、特別会員のコンサルタント会社限定で、実務面での事例発表を行い討論することで会員相互の技術力向上を図ることを目的に、事例研究報告会も開催しています。

## 出版 *Publication*

官公庁・民間で広く利用されている関係図書の出版を行っています

路面標示や信号制御などに関する個別の手引書や、平面交差の計画設計等交通工学の基礎的な技術に関する書籍を出版物しております。

### § 主な出版物 §

- ・平面交差の計画と設計
- ・交差点改良のキーポイント
- ・路面標示設置マニュアル
- ・交通工学ハンドブック
- ・交通信号の手引
- ・やさしい非集計分析
- ・道路交通センサス 等、多数



一般社団法人 **交通工学研究会**  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23  
Tel : 050-5507-7153 Fax : 03-6410-8718  
URL <http://www.jste.or.jp>